

原発ゼロ岩手学識者の会 シリーズ第 13 回学習・研究会

講演：原発ゼロへの道 ～再エネ最優先電力システムと蓄電技術～

講師：佐藤 信安 さん （本会代表世話人）

報告：東海・六ヶ所再処理工場の重大事故 貯蔵中の高レベル廃液のとてつもない危険性
永田文夫さん（三陸の海を放射能から守る岩手の会）

日時：2019年12月14日(土) 午後1時30分から（開場 1時）

会場：勤労福祉会館 4階401・402 会議室 盛岡市紺屋町2-9 ☎ 019-654-3480

◎会員に限らずどなたでも参加できます（参加費無料）

佐藤信安さんのプロフィール



- 本会の会員 1936年生。
- 北海道大学理学部大学院物理学専攻。
北海道大学工学部電気工学科在職。
オーストラリア国ニューイングランド
大学客員研究員。
工学博士 専門：電気工学。
岩手大学教育学部教授、定年退職。
日本科学者会議岩手支部会員。
北海道では岩内・泊原発問題に取り組む。

リチウムイオン電池をはじめ電力を貯蔵する蓄電技術は「脱炭素社会」形成の鍵として注目を集めている。すなわち温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの出力自然変動を吸収し、電力システムへの導入を容易にするとともに、EV（電気自動車）と組み合わせた再エネ利用、再エネの地産地消推進など、さらには脱原発への期待である。今回は日本のエネルギー政策の下での再エネ導入状況、その中での蓄電池技術の開発・導入の現状について概観し、再エネ最優先の電力システム、原発ゼロ実現への道を探る。

連絡先 原発からの早期撤退を求める岩手県学識者の会（略称：原発ゼロ岩手学識者の会）

メール: ttakei@iwate-u.ac.jp Tel : 019-621-6551